

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放) ぽんぽこはうす		公表日		令和8年 5月 7日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	1階と2階で児童を分け、スペースを確保している。児童間の距離を丁度良く保てるように努力している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	利用人数や、児童の特性に合わせた配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	視覚的な示しを多く取り入れている。テーブル等の家具もけががつかないように考慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	心地よく過ごせるように、毎日定期的に掃除している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	パニックや体調不良時に安静スペースを確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	ミーティング等を毎日実施している。日誌に記録し、経過をたどれるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年に一回アンケートを実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	ミーティング等を毎日実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	第三者委員会は設置されていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月に一度のペースで社内研修を行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	SNSなどを活用して公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	モニタリングを半年に一度実施している。短期目標等の課題を設定している。ニーズを把握したうえで作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	担当者会議に参加してもらい検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	情報共有できている。職員全員が閲覧できるように保管されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	行動記録などの日々の様子に応じて実施している。定期的の確認できている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ケース会議にて情報を共有し、適切な支援を提供している。児童が達成しやすい内容に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	チームで相談しながら行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	新しいアイデアを常に出し、季節に応じて変化を取り入れている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別から集団へ繋げる支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	ミーティングを毎日実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	日報を作成し振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日報や行動記録をとって日々の検証改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に一度実施し、見直しは随時行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	ガイドラインにそって、全てを組み込めるよう留意している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	複数の選択をごちから提案して、児童が自己選択できるよう工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	管理者や現場の職員が会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	保護者を介して学校や主治医と情報共有し、連携を	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	保護者を介して体制をとっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	引継ぎ等の書類を作成し、相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	引継ぎ等の書類を作成している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	機会があれば設けている。 社内での研修の機会が多い。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	今のところはない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	限られた職員が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	様子や問題行動の助言をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家族が参加できる研修の機会は少ないように感じる。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に対面で説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	ニーズなど聞き取る機会を設けて、意向を確認し、それに基づいた支援を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	保護者には手渡し、説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談できる体制を整えている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	父母会はない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情については、適切に、その日のうちに対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	SNS・おたよりを使い発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付き書庫にて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵カード・ゼスチャーや、手話など、ひとりひとりに合わせての伝達手段を用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	市役所などにパンフレット等を置いている。招待はできていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各委員会を設置し、実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	年に2回訓練している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	医師の指示書に基づき、対応している。事業所内にも掲示されている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	指示書に基づいた対応と環境面を整えている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	全職員をまじえて、定期的に点検等を実施している。十分な安全管理の中で支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	法人全体に周知し、検討会を実施し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	法人内で虐待防止委員会研修の機会を設けて、適切な対応を学んでいる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	記載している。現在、身体拘束を必要とする利用者はいない。		